



資料 2

健康寿命（令和4年度公表値）の分析結果について

神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課

令和 8 年 1 月 14 日

■ 女性における健康寿命の伸び悩み

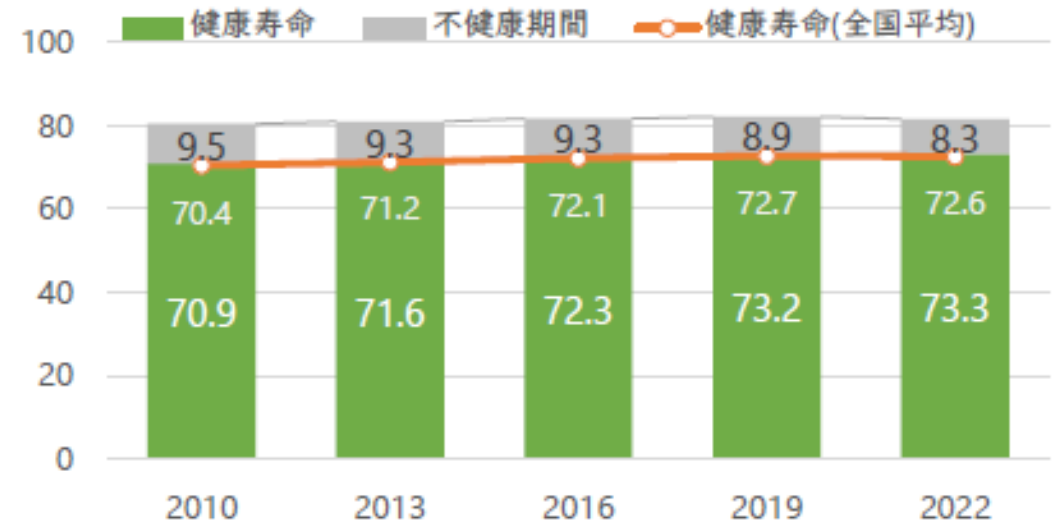
○ 神奈川県健康寿命

- ⇒ 男性の健康寿命は、継続して延伸傾向
- ⇒ 一方、最新（2022年）の結果では、女性の健康寿命が前回（2019年）と比べてわずかに減少
- ⇒ 順位についても、男性は全国5位（前回11位）に対して、女性は全国45位（前回38位）

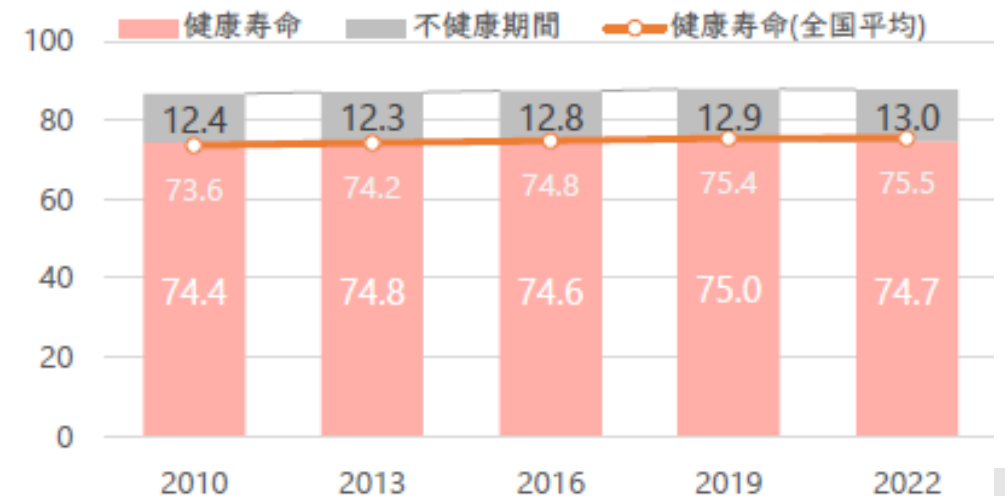


（特に女性における）健康寿命の伸び悩みに関する要因を探索する

健康寿命の推移
(男性：2010-2022年)



健康寿命の推移
(女性：2010-2022年)

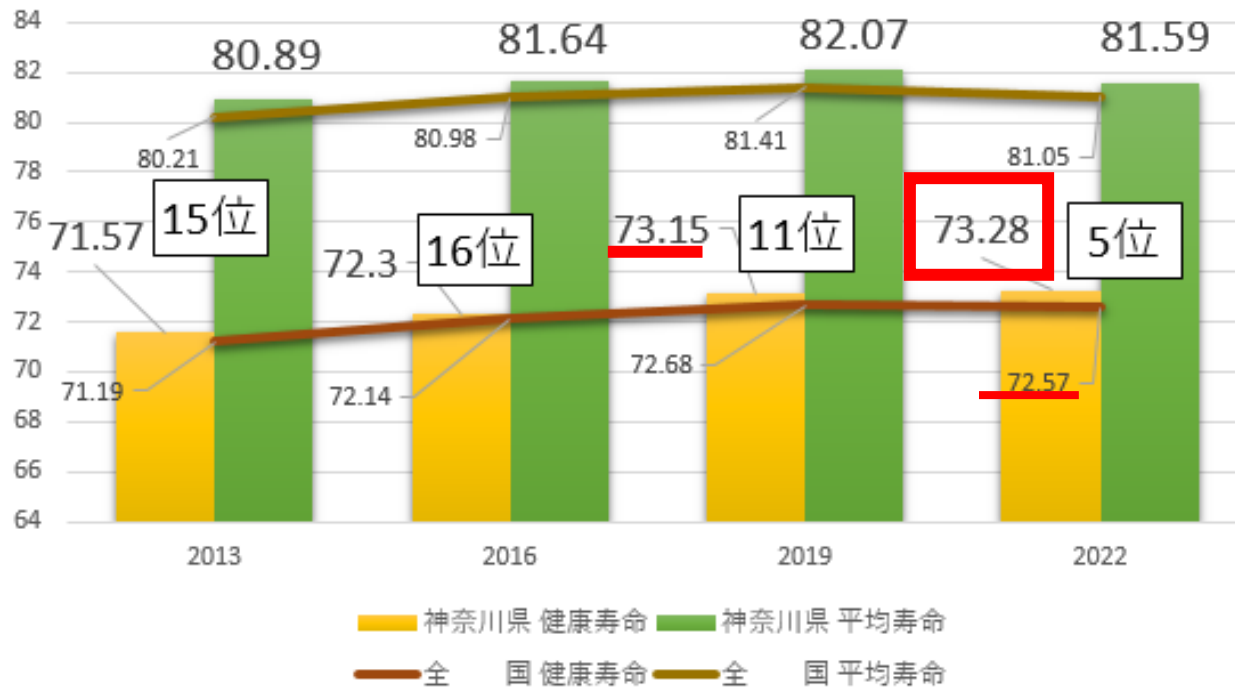


神奈川県健康寿命の推移

男性

全国との比較
+0.71歳

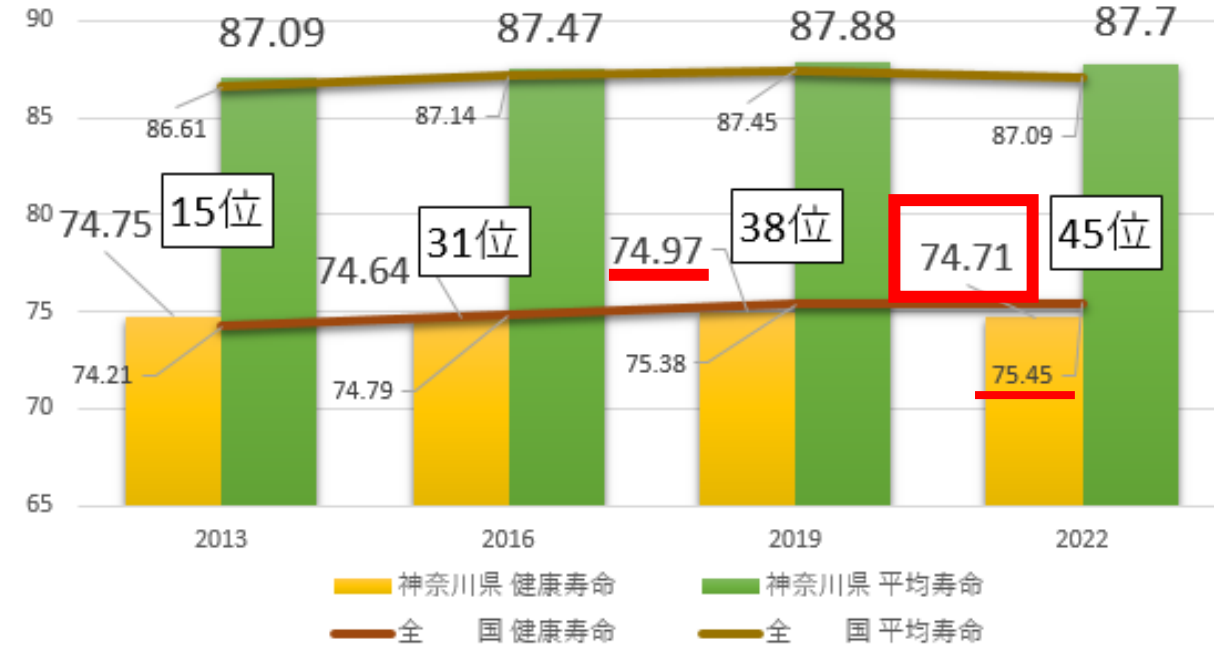
健康寿命（男性）



女性

全国との比較
-0.74歳

健康寿命（女性）



■ 取得データ

国民生活基礎調査 個票データ

- ・ 調査年

- ①平成28（2016）年

- ②令和元（2019）年

- ③令和4（2022）年

- ・ データの種類

- ①世帯票

- ②健康票

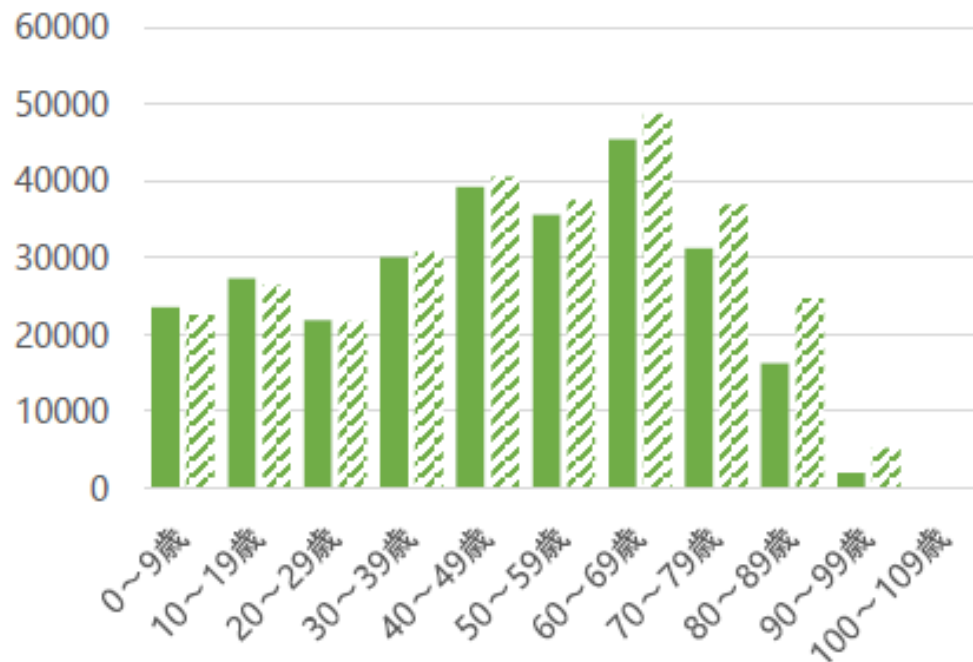
- ③所得票・貯蓄票

- ・ 性・年齢階層別件数は全国567,753人、女性295,196人、県内は21,333人、女性10,736人
- ・ 神奈川県の女性の回答率は全体の**1.9%**

回答者の性・年齢階層別件数（全国）

n=567,753

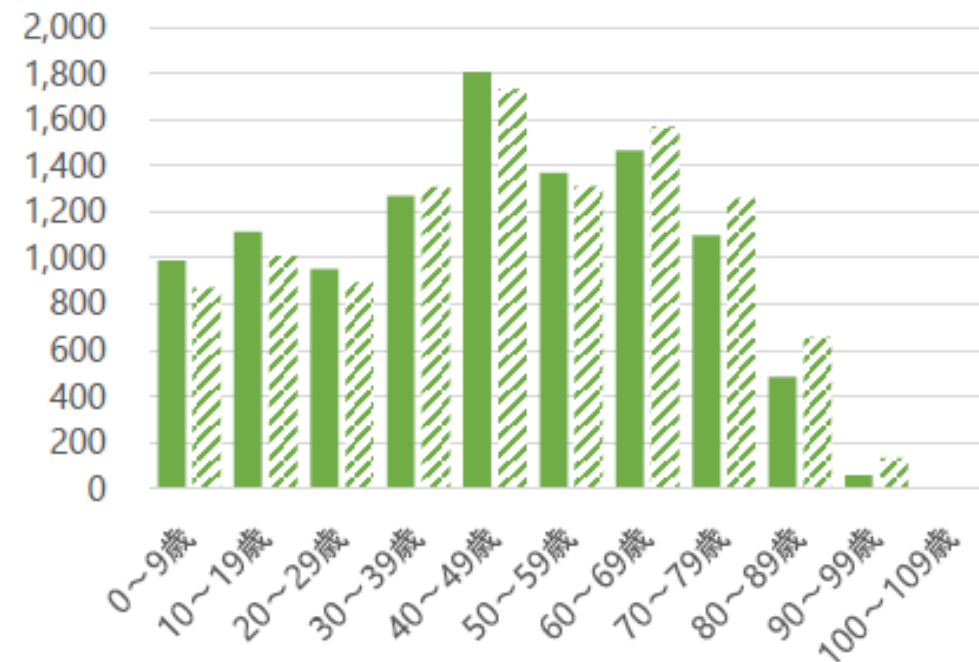
■ 男性(n=272,557) ▨ 女性(n=295,196)



回答者の性・年齢階層別件数（神奈川）

n=21,333

■ 男性(n=10,597) ▨ 女性(n=10,736)



健康寿命の定義

- ある健康状態で生活することが期待される平均期間を表す指標
- 算出対象となる集団の各個人について、生存期間のうち「健康な期間」の平均値を表す

「健康な期間」の定義

1. 健康な状態と不健康な状態とに二分して健康な状態の期間を表す方法
2. 不健康な状態をレベルによって重みづけし、完全な健康（full health）に相当する期間として表す方法

- ・「健康な期間」を、国民生活基礎調査の健康票（大規模調査年のみ実施）における以下の問いに基づいて評価

質問5 あなたは**現在**、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 ある 2 ない → **質問6へ**

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）	4 運動（スポーツを含む）
2 外出（時間や作業量などが制限される）	5 その他
3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	

「健康な期間」が健康寿命に大きく影響する

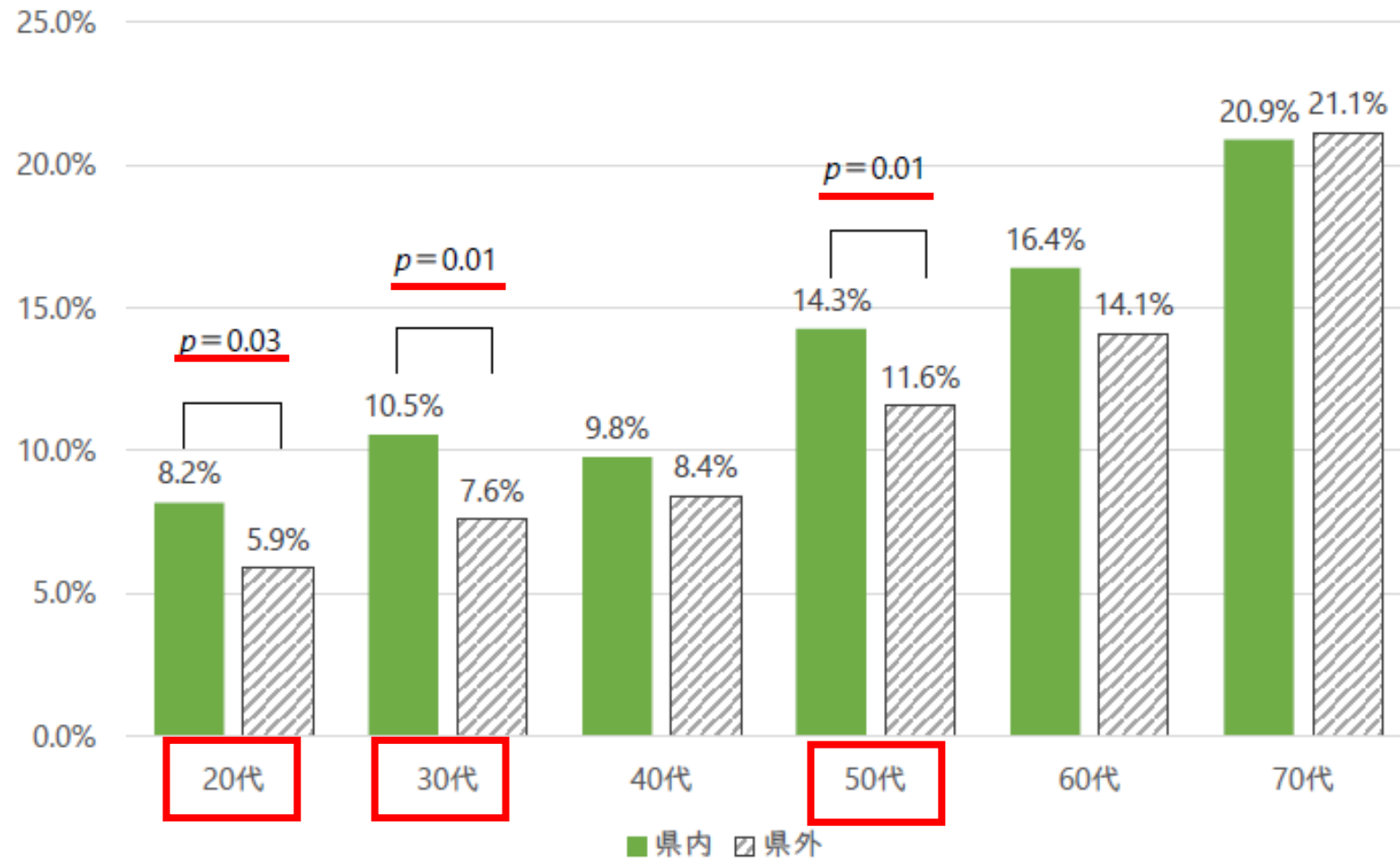
R4年度健康票：神奈川県と他都道府県との比較（女性）

日常生活への影響の有無

SHI渡邊亮教授作成

日常生活への影響の有無（神奈川県内・県外別、年齢階級別）

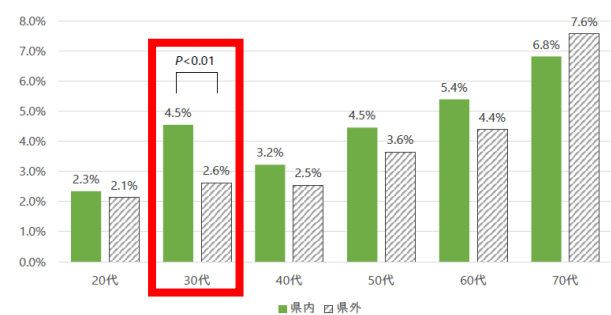
令和4年度・女性



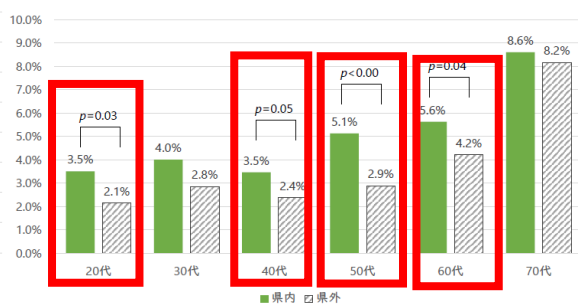
神奈川県と他県の女性と有意差の生じたもの

	質 問 項 目	有意差の生じた年代
1	日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）	30代
2	外出（時間や作業量などが制限される）	20代、40代、50代、60代
3	仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	20代、50代
4	運動（スポーツを含む）	60代

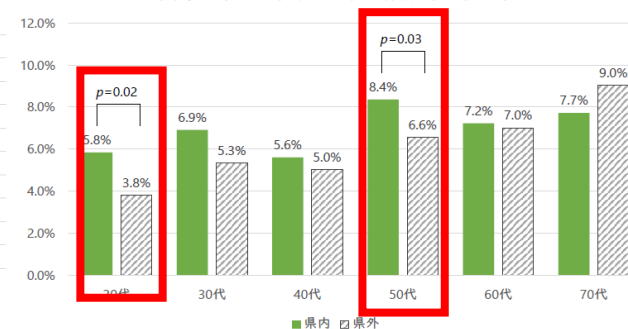
質問5-1：日常生活への影響の事柄
1：日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）
（神奈川県内・県外別、年齢階級別）（女性）



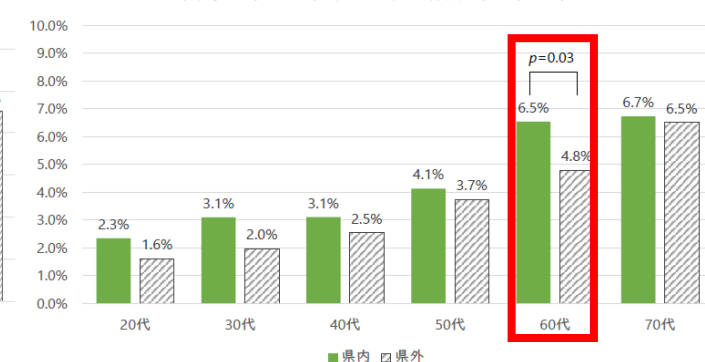
質問5-1：日常生活への影響の事柄
2：外出（時間や作業量などが制限される）
（神奈川県内・県外別、年齢階級別）（女性）



質問5-1：日常生活への影響の事柄
3：仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）
（神奈川県内・県外別、年齢階級別）（女性）



質問5-1：日常生活への影響の事柄
4：運動（スポーツを含む）
（神奈川県内・県外別、年齢階級別）（女性）



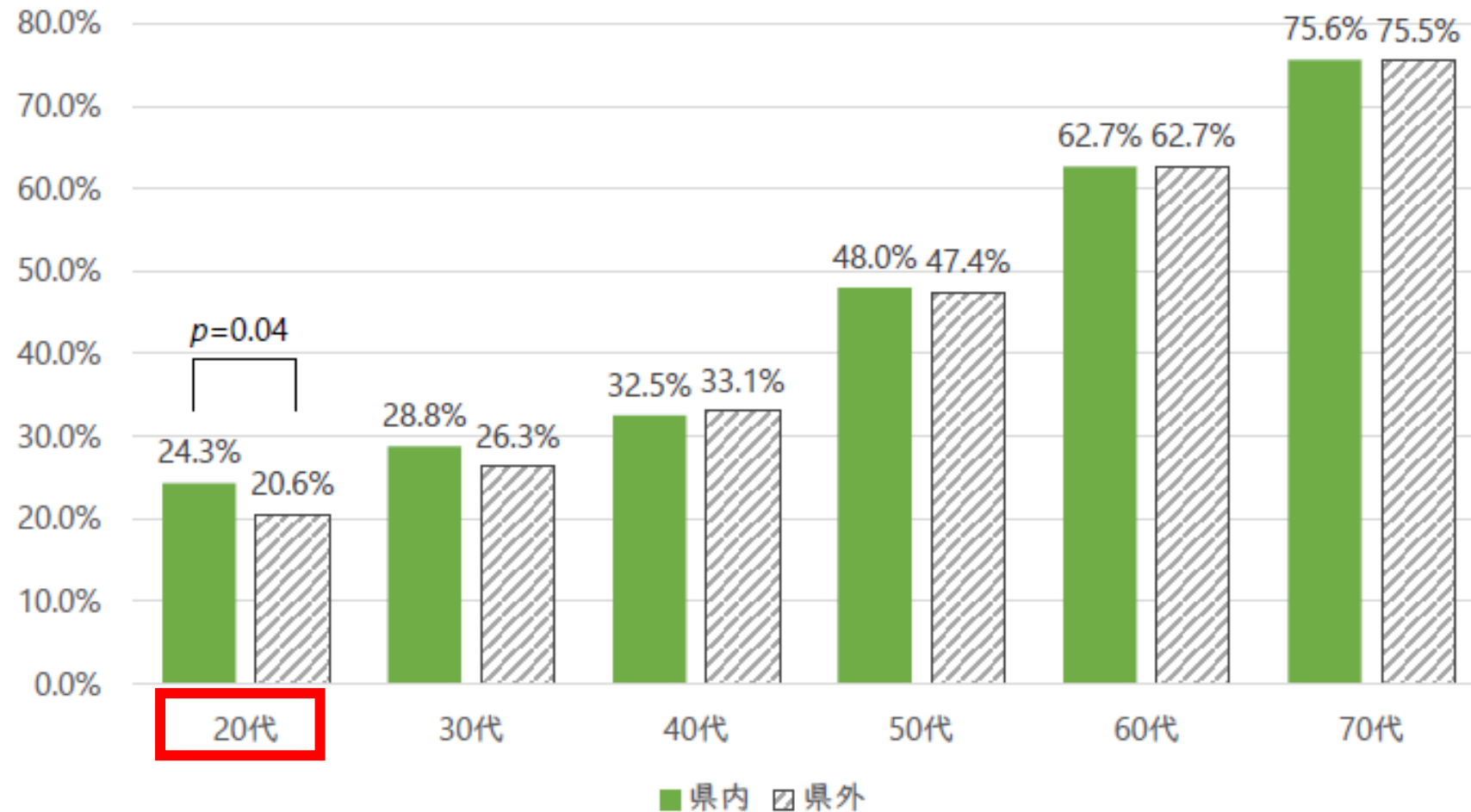
神奈川県20代・30代・50代の女性が他都道府県に比べ、「日常生活への影響」が生じる要因は？

日常生活への影響が生じる要因について

通院の有無

SHI渡邊亮教授作成

質問4：通院の有無
(神奈川県内・県外別、年齢階級別) (女性)

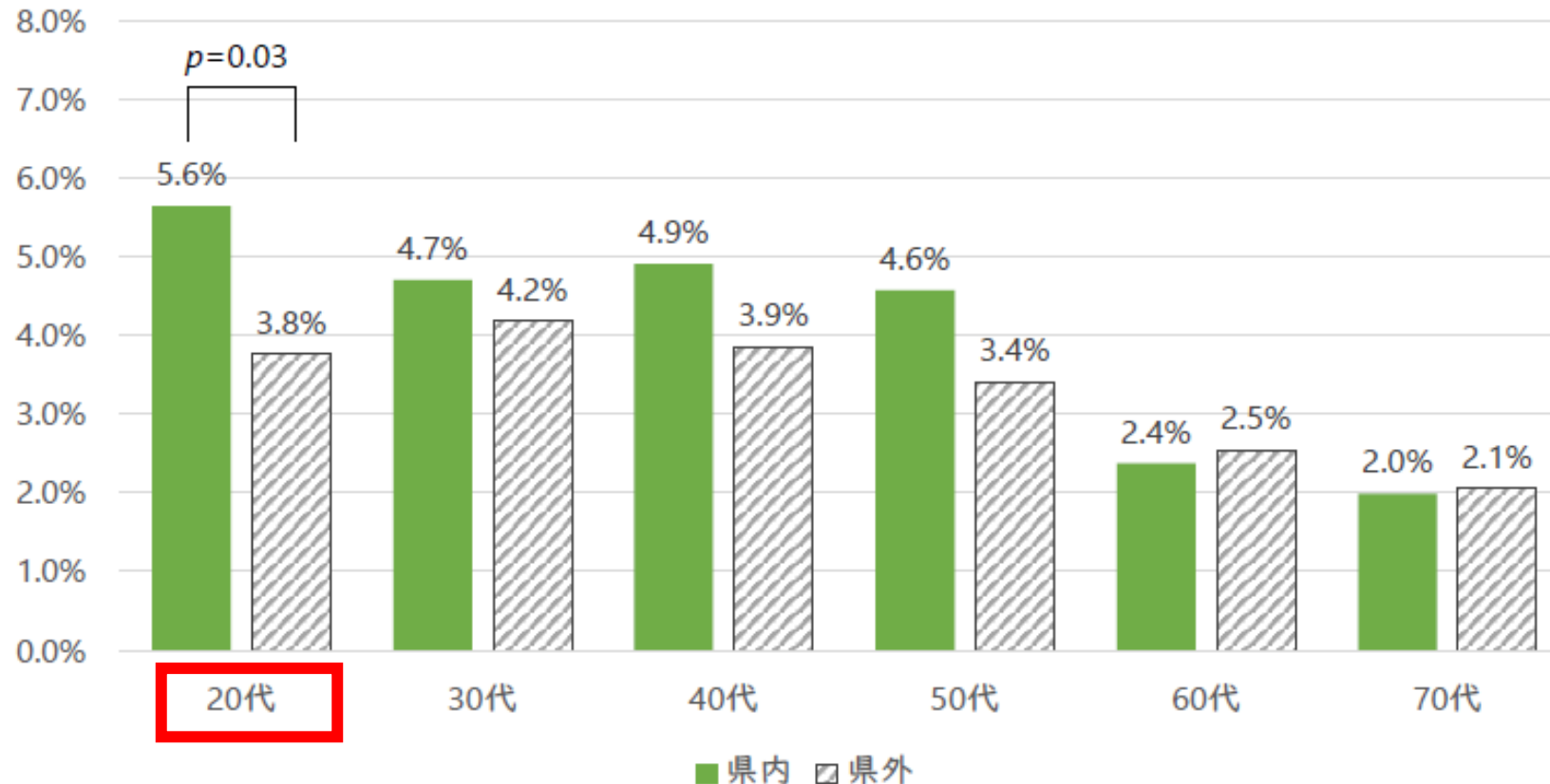


通院理由

質問4：通院理由(傷病名)

4-05：うつ病やその他こころの病気

(神奈川県内・県外別、年齢階級別) (女性)



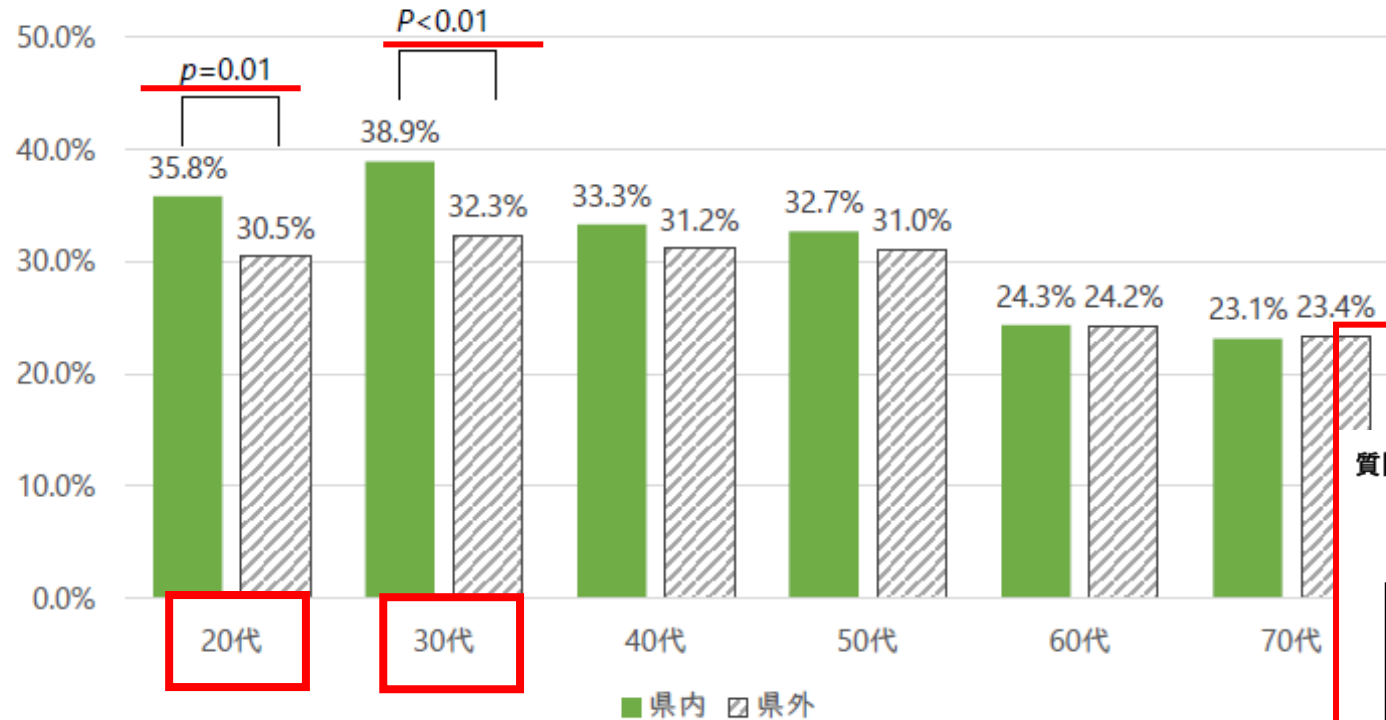
R4年度健康票：神奈川県と他都道府県との比較（女性）

こころの状態

質問12：こころの状態(K6)

SHI渡邊亮教授作成

合計点(K6)が5点以上の者の割合
(神奈川県内・県外別、年齢階級別) (女性)



■ こころの状態に関する設問項目

質問12 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのような状態であったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

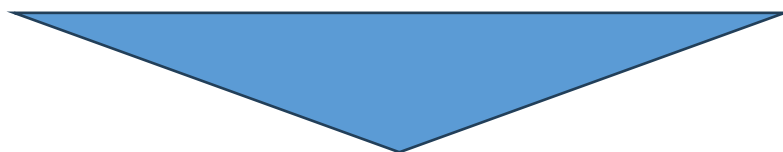
分析結果のサマリ(SHI渡邊教授による解析)

○神奈川県的女性では、健康寿命の算出に影響を及ぼす「日常生活への影響の有無」に「ある」と回答した者の割合が、他都道府県と比較して、20代・30代・50代で有意に多い。

⇒経年でみても20代・30代・50代では「ある」と回答した者の割合の増加が続いていた。

○日常生活への影響がある要因については、現時点での解析では明らかになっていない。

・ただし、「こころの状態 (K6)」の値が悪い者の割合は、他都道府県と比較して20～30代に有意に多かった。



取組に対するご意見